

一、而立和十三班、吉所は運船越年八人の入賃費す  
同社十強四号力山荷車太郎は、取扱事に陳情書を携  
之、呈上す。

二月二十日

40  
 一、復算各二名計二万九千五百  
 一、新2年 七名 计二万五千三百  
 一、出勤2年 五万四千九百  
 一、丙午年 費業2十四名社在荷支免人2倍共の額  
 約十四ヶ年外の年譜費四の支給の「丁參」を加之  
 十五ヶ年を控出焉し会社は三個年(追加)拒絶  
 伊丹三郎近藤志郎助 野瀬義徳太郎 久保  
 世正平太忠太郎 有松英三喜井 道助  
 二月二十日

41  
 山本幸一收銀、老十洋50圓作、飯尾勘太郎  
 小橋政夫 中野元吉 村松新一郎 沢上  
 下室洋洋佐藤、暨上之は本り、半滿 圓員三千五百  
 し、而内老十也請回セしより、萬島書人御印を  
 おも、其署在幸一老十圓作

二月二十日

一、新2年 六名 计二万三千五百  
 一、出勤2年 五万三千七百  
 一、新2年 四名 计二万三千五百  
 一、出勤2年 五万三千五百